

メロンまつり（産業まつり）

第1回（昭和57年）から第4回（昭和60年）まで産業まつりという名称で開催。開基90年・分村30周年を祝う、記念の年にふさわしい行事だと早い段階から、記念事業実行委員会産業部の手で準備されていました。

第5回（昭和61年）以降はメロンまつりに名称を変更。特産品「アサヒメロン」の格安販売をメインに、メロンボウリング、アームレスリング、メロンの早食い競争など、地域の特性を生かした企画がありました。



◀特設会場での焼肉の様子
昭和57年
広報おいわけ10月号



ミニ動物園（子牛）▶
昭和59年
広報おいわけ10月号

他にもアヒル、ウサギ、子ヤギ
といった小動物もいた



アームレスリング
平成3年広報おいわけ9月号



和牛の丸焼き
平成3年広報おいわけ9月号



メロンボウリング
平成4年広報おいわけ9月号



メロン即売会
平成4年広報おいわけ9月号



メロン早食い競争
平成6年
広報おいわけ9月号



よさこいソーランOIWAKE
向日葵
平成9年広報おいわけ9月号

ワイワイまつり

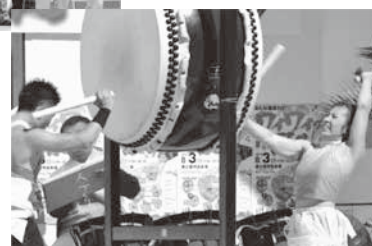
追分地区の町民が一丸となって立ち上げた地域のまつり。町民がとにかくワイワイしながら楽しく盛り上がるのを目的としています。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が中止になっていますが継続中です。

太鼓演奏やよさこいが熱いパフォーマンスで会場を包みこんでいたようです。



◀第1回目の様子
平成23年
広報あびら9月号

和太鼓の競演▶
平成25年
広報あびら9月号



追分町「メロンまつり」では長年司会を務め、

「かしわまつり」「あびら夏！うまかまつり」の司会も務めていた小笠原愛子さんに当時の話を聞きました！

「メロンまつり」の司会を平成9年から務め、合併後も「メロンまつり」の司会を3年間継続。「かしわまつり」の司会スタッフとして携わっていたこともあり、司会者を任せられた最初のころは素人同然でしたが、常にみんなに分かってもらう、楽しんでもらうことを考えながら、色んな人と関わるうちに面白みがあったり、台本に書いていないことをアドリブでやってみたりと何回も務めているうちに仕組みが分かってきました。

追分町出身で広告代理店で働いていた方がテレビ局とのつながりがあり、その方が尽力したおかげで町外からの参加者が増えました。JR札幌駅前30秒PRやラジオに出演したことも。会場で参加者に話を聞いた中で、は

るばる京都府から来られたご夫婦がいて、道内旅行の際にたまたまラジオを聴いて「メロンまつり」のことを知ったという声を聞きました。

メロンの早食い競争は道内各地から参加者がおり、開催前日にキャンプ場に泊まってまで参加するという人が出るほど、人気のある企画でした。「メロンまつり」も「ワイワイまつり」も担当職員とみんなで作り上げた手作りのまつりであったり、知恵を出して考えた参加型の企画が楽しかったです。

